



# アートウォール門柱ユニットS1型/W1型

## 取付・取扱説明書

四国化成の製品をお買いあげいただきありがとうございます。  
 末永くご愛用いただくために、この「取付・取扱説明書」をよくお読みいただき正しい  
 施工とご使用をお願いします。

●施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。

### 施工上の注意事項

- 1.モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれており、腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- 2.施工時に製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。  
 また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので、取扱いには十分注意してください。
- 3.施工完了後に取りつけ作業をしたネジ類の締め具合をもう一度確かめてください。
- 4.この「取付・取扱説明書」は、工事完了後お客様にお渡しください。

### 施工の前に

●下の表をご覧ください、梱包内容をお確かめください。

名称	部品名称	形状	数量
S S S 1 1 1 型 型 型 A B タ タ タ イ イ プ プ 無 し	門柱本体		1
	取付・取扱説明書		1
	お客様へ		1
W W W 1 1 1 型 型 型 A B タ タ タ イ イ プ プ 無 し	門柱本体		1
	取付・取扱説明書		1
	お客様へ		1

名称	部品名称	形状	数量
機能 パ ネ ル L タ イ プ	機能パネル 表札加工付き	(インターホン取付用) 	1
		(インターホン無し仕様) 	
	LED照明	 AC100V	1
	サラ十字小ねじ M4 × 10L		2
	ナベ十字小ねじ M4 × 10L		2
機能 パ ネ ル N タ イ プ	機能パネル 表札加工無し	(インターホン取付用) 	1
		(インターホン無し仕様) 	
	サラ十字小ねじ M4 × 10L		2

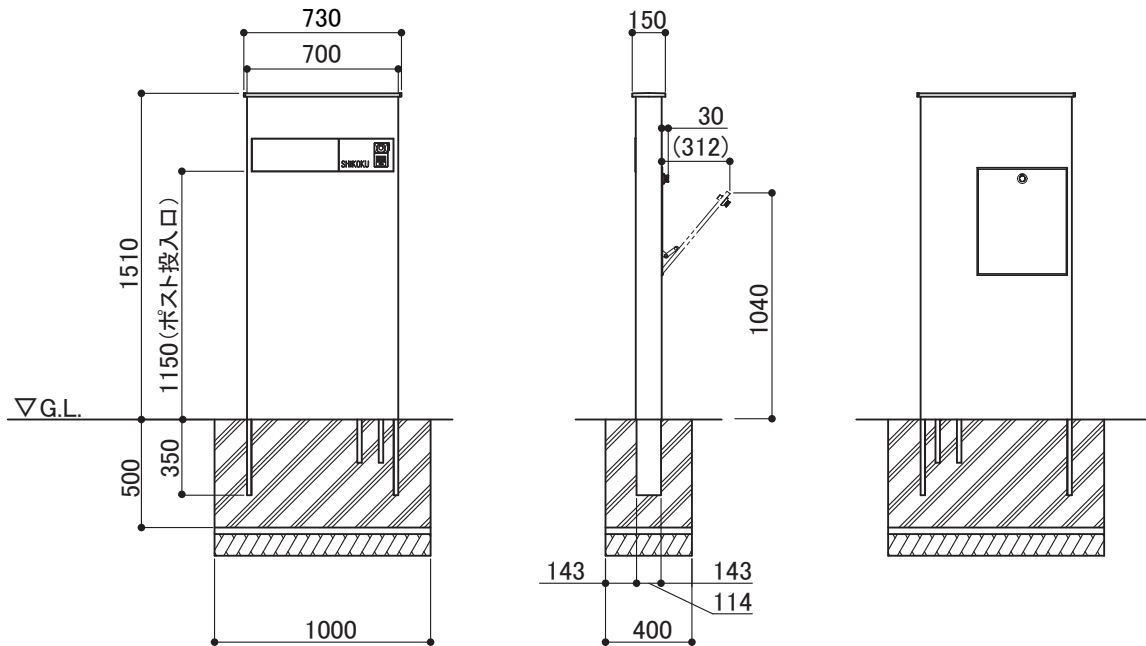
# 施工の手順

■施工は、下図の番号順( **1** → **2** →... **6** )に作業してください。

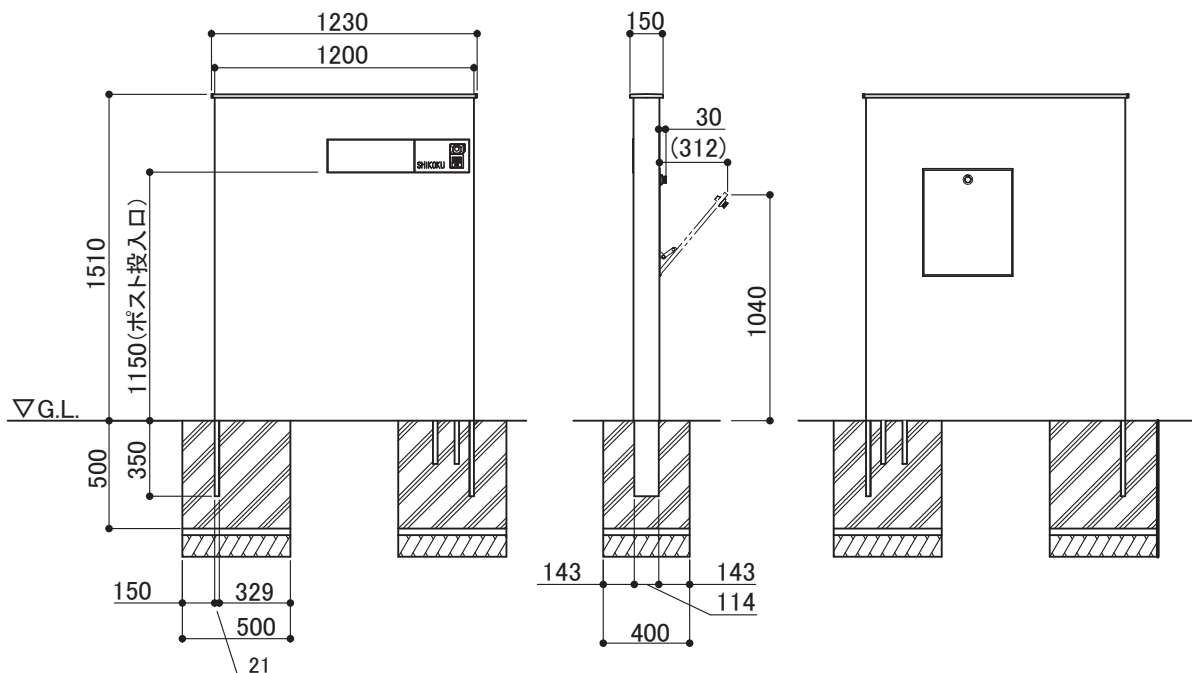
1. インターホン・照明の配線を行い、据付け図に従って、門柱本体を立ててください。 **1** **2**
2. (インターホン取付用のみ)インターホンを取りつけてください。 **3**
3. (Lタイプのみ)LED照明を取りつけてください。 **4**
4. 機能パネルを取りつけてください。 **5**
5. 本体を埋設してください。 **6**

## 1 据えつけ図

■S1型(本図は、タイル無し、機能パネルLタイプ付きを示す。)

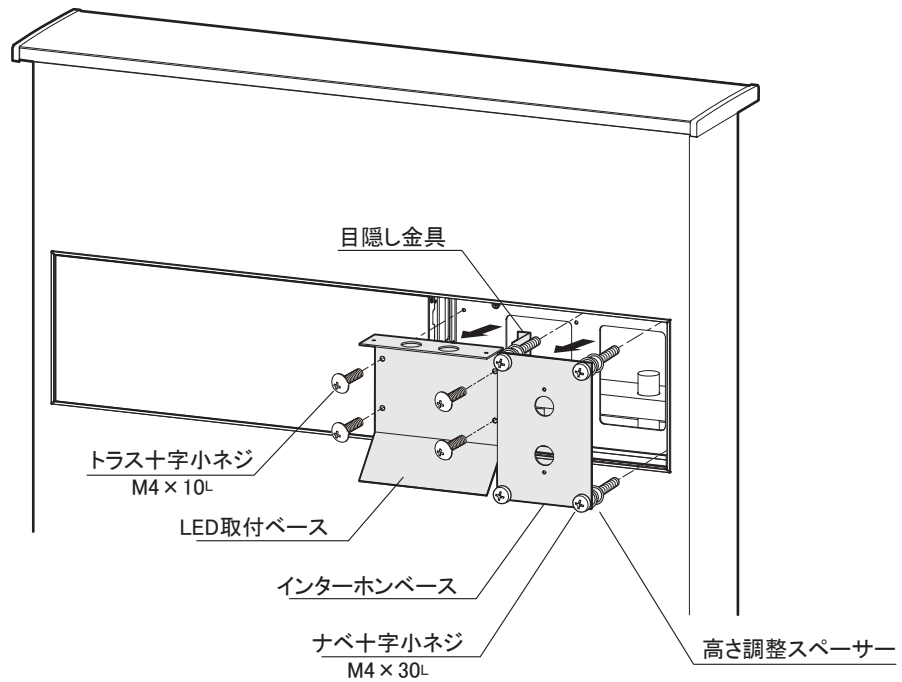


■W1型(本図は、タイル無し、機能パネルLタイプ付きを示す。)

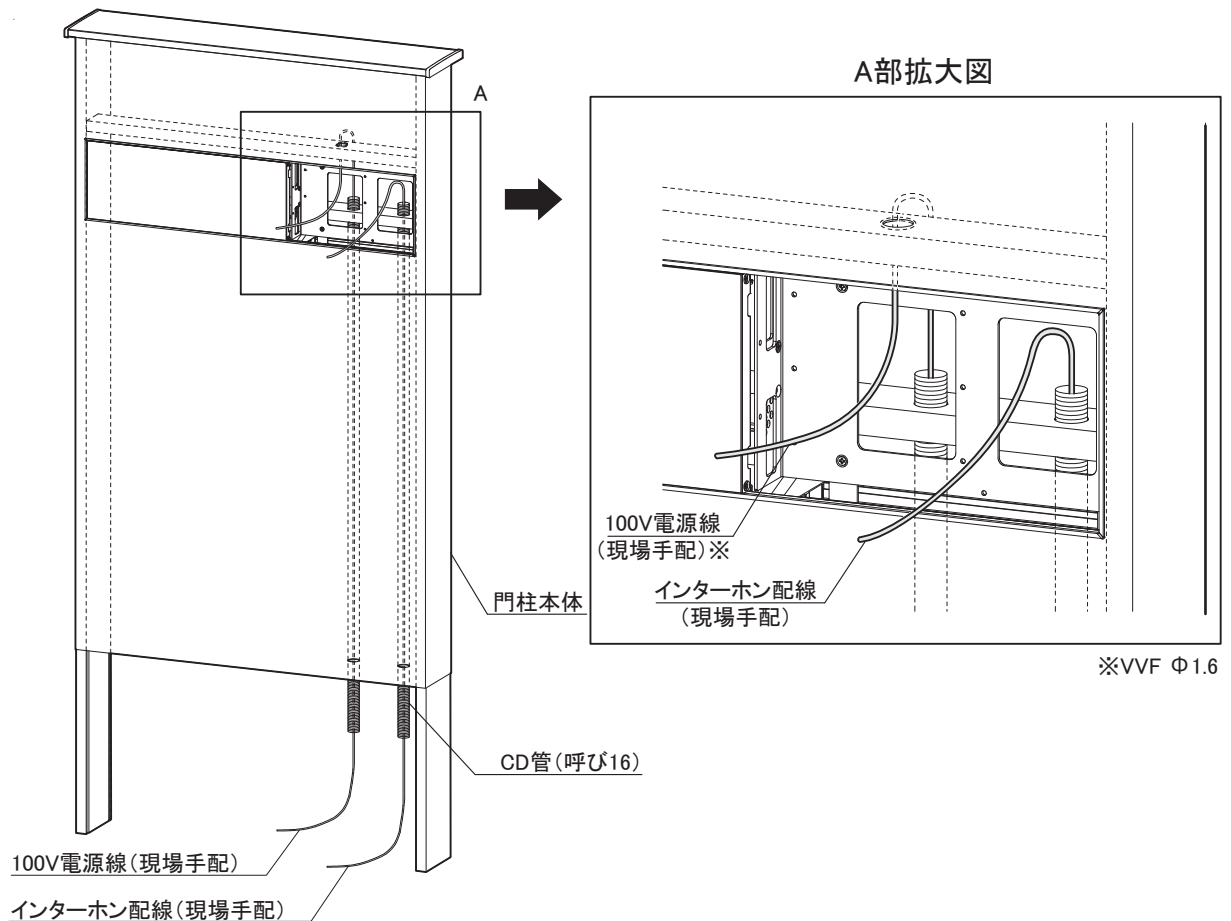


## 2 インターホン・照明の配線

1. インターホン取付用の場合、インターホンベースを外してください。  
Lタイプの場合、LED取付ベース・目隠し金具を外してください。  
取り外したビス類は、配線後に使用しますので、無くさないように注意してください。



2. 門柱本体には、CD管が内蔵されています。  
下図を参考に、インターホン取付用の場合は、インターホン配線を、Lタイプの場合は、漏電遮断器を  
介し、100V電源線の配線を行ってください。



### 3 インターホンの取付(インターホン取付用のみ)

1. インターホンの厚さを測り、インターホンベースに取り付けているスペーサーの個数を調整してください。  
 (注)出荷時は、スペーサーが3個取りついています。

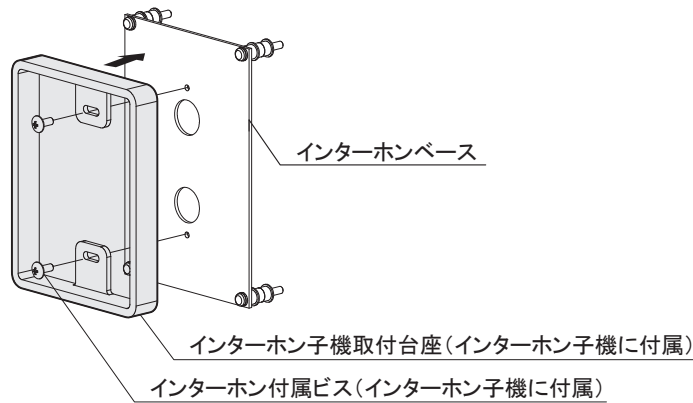
インターホン厚み(※)	23mm ≤ t ≤ 27mm	27mm < t ≤ 32mm	32mm < t ≤ 37mm
スペーサー	3個(出荷時)	2個	1個

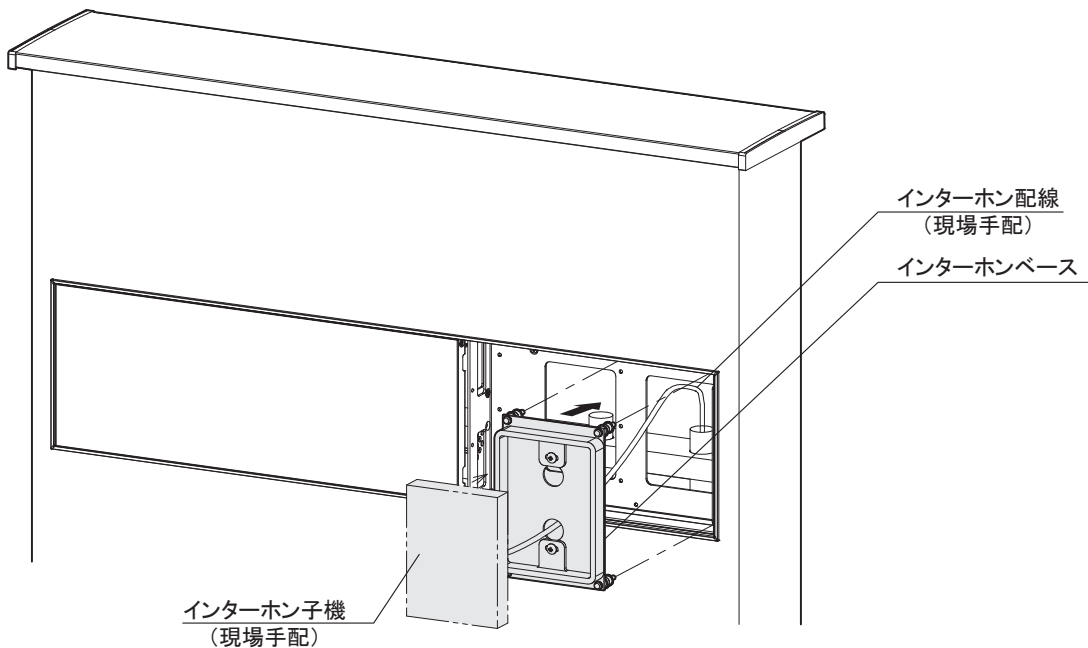
(※)レンズ・パネル部の高さは除く

抜け止めワッシャーは、手で外すことができます。  
 高さ調整後のスペーサーが落ちるのを防止する役目です。

2. インターホンベースにインターホン子機取付台座(インターホン子機に付属)を取りつけてください。



3. インターホン子機にインターホン配線を接続して、インターホンベースを門柱本体に取りつけてください。

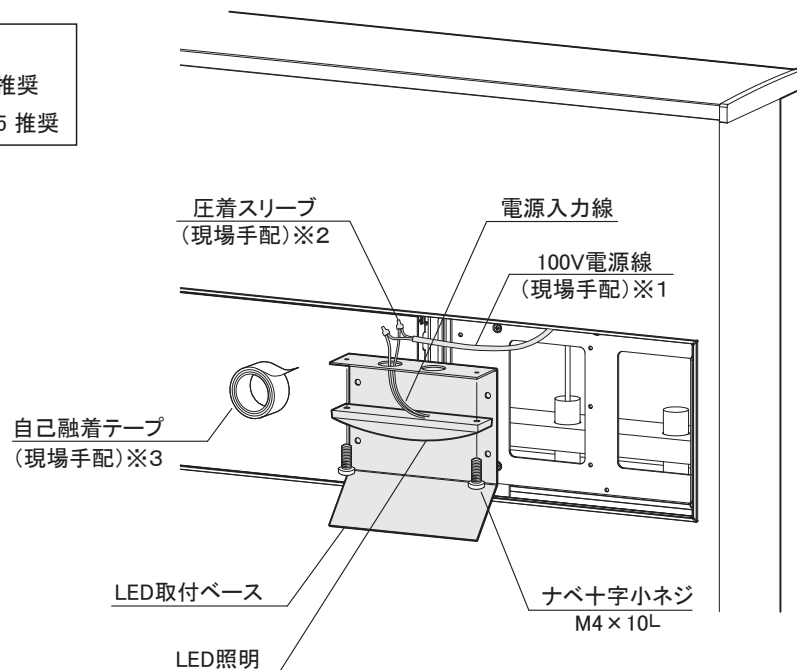


# 4

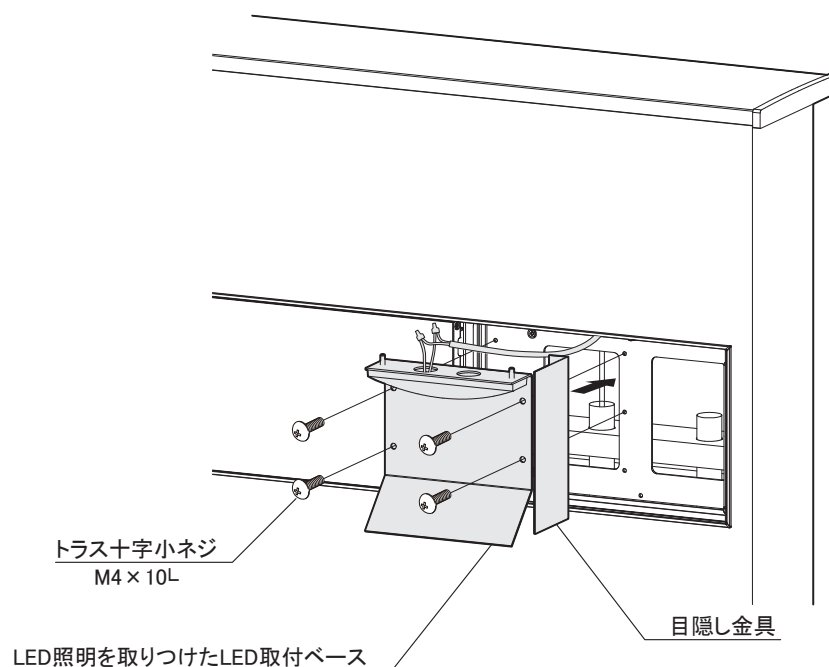
## LED照明の取り付け(Lタイプのみ)

1. LED照明の電源入力線引出し口は防水処理をしています。  
電源入力線を強く引っ張らないでください。  
強く引っ張りすぎると隙間が発生し、雨水などによる感電・火災の原因になります。
2. 漏電遮断器を介した100V電源線とLED照明の電源入力線を接続してください。  
注)電源線の接続は圧着スリーブで確実に行い、自己融着テープなどで防水処理を行ってください。  
不完全な場合、漏電などによる感電・火災の原因になります。
3. LED取付ベースにLED照明をナベ十字小ネジ(φ4×10L)で取りつけてください。

- ※1. VVF φ1.6
- ※2. JST E型小 推奨
- ※3. ニトムズNo.15 推奨



4. LED照明を取りつけたLED取付ベース・目隠し金具を、**2** で取り外したトラス十字小ネジ(M4×10L)で門柱本体に取りつけてください。  
取り付けの際は、配線が引っかからないよう注意してください。

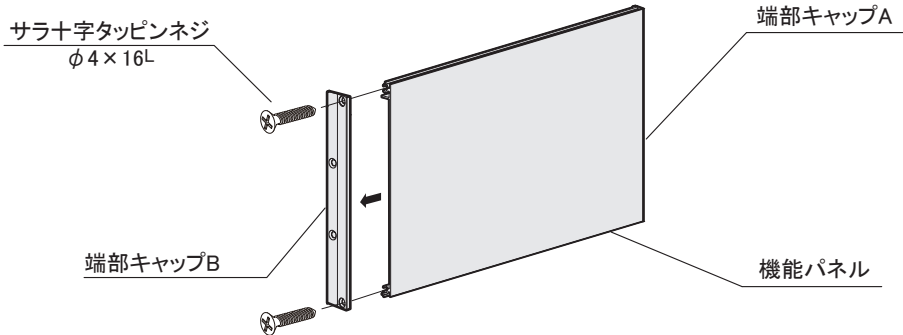


# 5

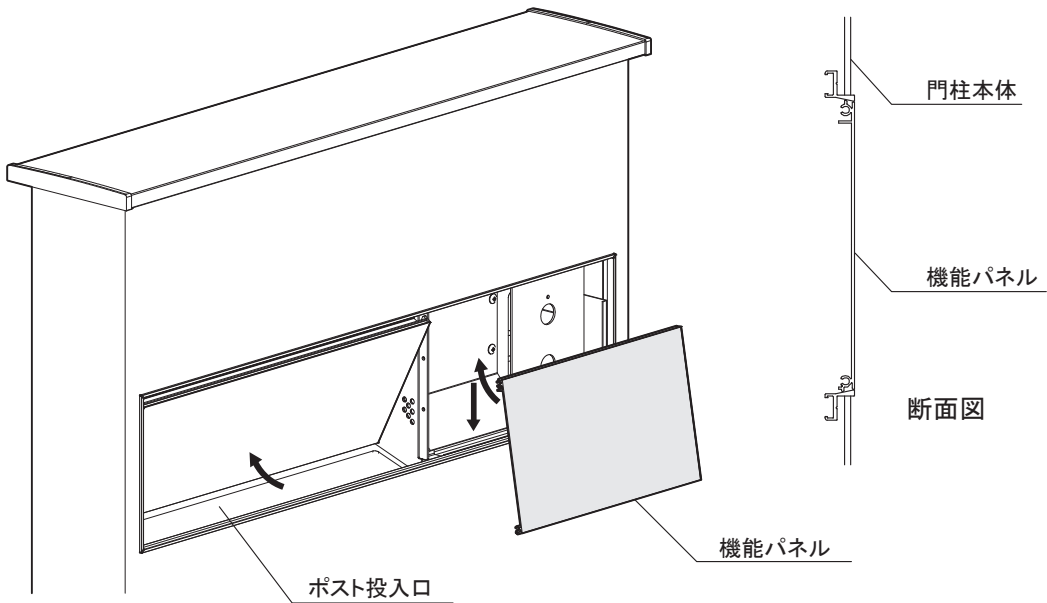
## 機能パネルの取り付け

下図は、機能パネルNタイプ・インターホン無し仕様を示しています。  
他のタイプも取り付け方法は同じです。

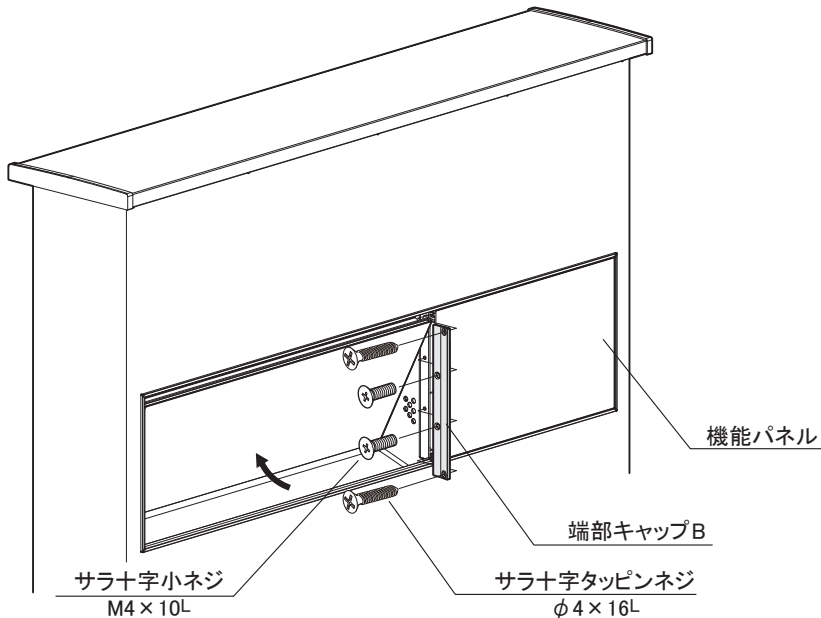
1. 機能パネルの端部キャップBを取り外してください。  
取り外したビスは、門柱本体に取り付けの際に使用しますので無くさないように注意してください。



2. 下図を参考に、機能パネルを門柱本体に入れ込んでください。  
ポスト投入口を開けた状態で作業すると作業しやすくなります。

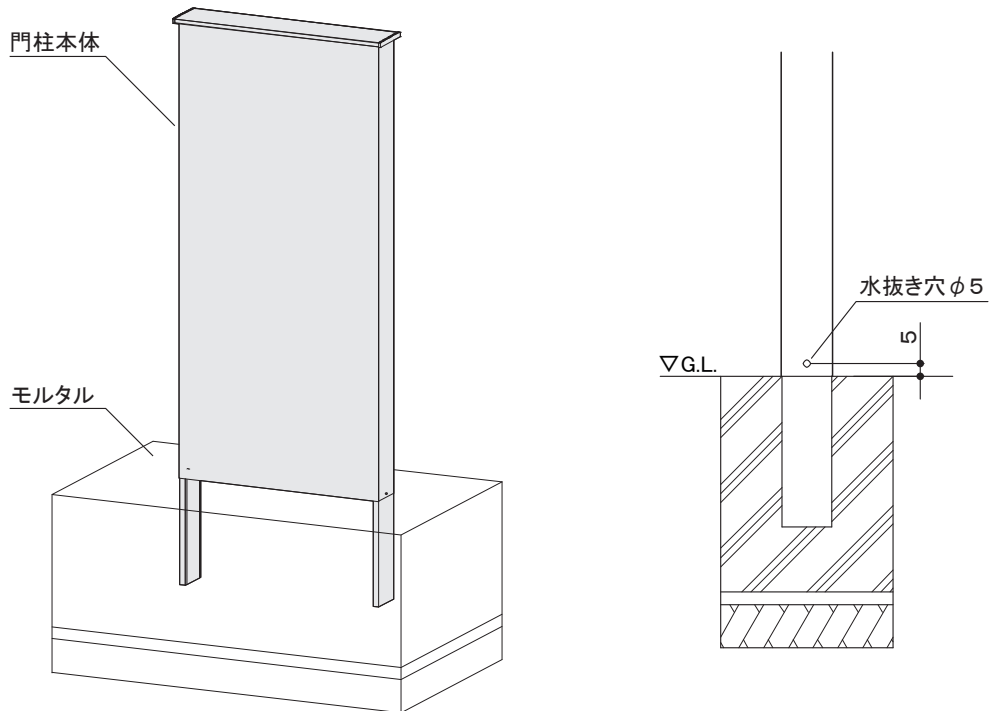


3. ポスト投入口を開けた状態で端部キャップBを取りつけ、門柱本体と機能パネルを固定してください。



## 6 本体の埋設

1. 門柱本体を垂直に立てて、モルタルで埋めてください。
2. 下図を参考に、本体側面部の足元に、水抜き穴をあけてください。



## 7 ダイヤル錠の操作方法

施工店様へ 工事完了後には、必ず管理番号シール、開錠番号シールをお施主様にお渡しください。

### 6-1. 使用上の注意事項

本製品は簡易錠ですので、貴重品・重要書類・危険物・生物などの受取りや保管には適しておりません。

お部屋の鍵も入れないでください。盗難やいたずらには対応できません。

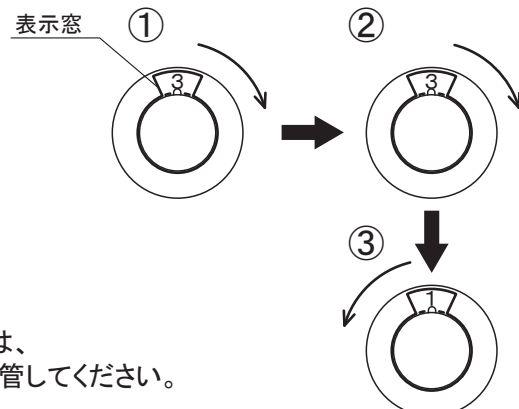
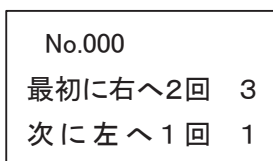
本製品の故障の有無に関わらず、盗難あるいは紛失・損傷・汚染した場合、弊社はその責任を負えませんのでご了承ください。

### 6-2. 開錠方法

1. ダイヤルの錠番号を右(左)へ2回以上回して、親番号を表示窓に合わせます。

2. 次に、左(右)へ子番号まで回してください。子番号まで回すと開錠されます。

3. ツマミを手前に引くとフタが開きます。



※この番号は開錠の一例です。

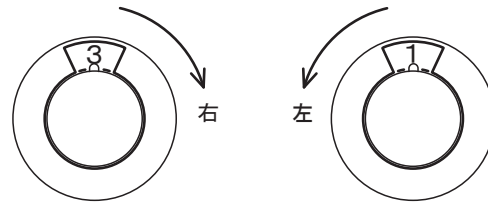
各番号は開錠番号シールを確認してください。

管理番号シール(1枚)、開錠番号シール(3枚)は、

本書又は、家のわかりやすい場所へ貼って保管してください。

### 6-3.施錠方法

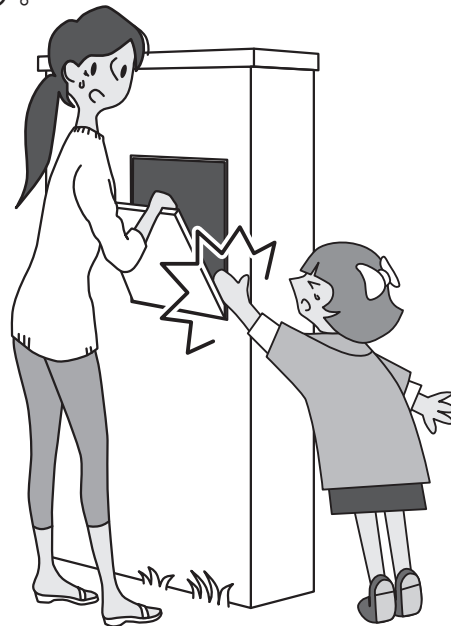
施錠する場合は、ダイヤルを左右どちらかに1回転以上回すと施錠されます。  
※1回転以上回さないと、小番号を合わせただけで開く場合があります。



## お客様へ...

いつまでもご使用いただくため、下記の事項にご留意くださいますようお願いいたします。

1. この取付・取扱説明書は、大切に保管してください。
2. むやみにゆすったり、乗ったりしないでください。
3. この商品をいつまでもきれいに気持ちよくご使用いただくために、時々表面の汚れを拭き取ってください。
4. ポストに盗難防止機能はありません。ポストに付属の錠は簡易錠です。  
盗難事故による補償については、責任を負いかねますので、ご了承ください。
5. 豪雨や強風雨により、ポスト内部が浸水する場合があります。
6. ポストフタの開閉の際は、指詰めに注意してください。



### 上塗り材のお手入れ方法

1. 雨ダレなどの汚れを除去する場合は、薄めた中性洗剤で汚れを浮かしてから、ブラシで洗浄した後、水で洗い流してください。
2. 定期的に、やや硬目で毛足の長いホウキを使って、模様の目に沿って掃ってください。

●改良のため予告なしに製品の一部を変更することがありますのでご了承ください。